

(2022年度) 第74回 函館地区バドミントン選手権大会
兼 佐々木俊雄杯争奪バドミントン大会 (大会要項) (案)

- 1 主催 函館地区バドミントン協会
- 2 後援 高体連函館支部バドミントン専門部
- 3 期日 2022年9月4日(日) [高校 団体戦]
2022年9月10日(土)～11日(日) [高校・一般・年代別 個人戦]
- 4 会場 函館アリーナ (函館市湯川町1丁目32番3号 TEL: 57-3141)
- 5 競技種目 (1) 高校 男子・女子 団体戦 (1, 2年)
(2) 高校 男子・女子 個人戦 (1, 2年)
シングルス・ダブルス (2部制 A・Bゾーン)
(3) 一般・年代別 男子・女子 個人戦
一般 男子・女子 シングルス・ダブルス・混合ダブルス
セミベテラン 男子・女子 シングルス・ダブルス
ベテラン 男子・女子 シングルス・混合ダブルス
- 6 競技日程 9月4日(日) 午前9:30 競技開始 高校男女団体
9月10日(土) 午前9:30 競技開始 高校男女複・単 一般・年代別単
9月11日(日) 午前9:00 競技開始 高校男女単 一般年代別複・混合
- 7 競技規則 2022年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに公認審判員規程による。
- 8 競技方法 (1) 高校団体戦 (1, 2年)
① 2複3単による学校対抗とし、参加校数によりトーナメント形式もしくはリーグ戦とする。方式は組み合わせ会議で決定しHPで発表する。試合順序は複1、複2、単1、単2、単3の5マッチ制とする。なお、単1出場者以外は、複と単を兼ねて出場することができる。
② ゲームの進行によっては各マッチを同時に行うこともある。また、同時に行われているマッチの片方の試合結果で、チームの勝敗が決定した場合は、終了していない試合を打ち切ることとする。
(2) 個人戦
① 各種目とも出場数が「2」又は「4以上」の場合は、トーナメント戦とする。
② 出場数が「3」の場合は、リーグ戦とする。
③ 高校の部、一般・年代別の部とも各種目ごとに三位決定戦を行う。
④ 該当種目内の出場申込数が「1」のみで、試合の成立が見込めない場合は、当該選手に確認のうえ、以下「12 参加制限 (3)」の各項目に準じる。
- 9 使用器具 2022年度(公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び検定合格水鳥球を使用する。
- 10 参加資格 (1) 渡島・檜山・函館地区在住の高校生及び一般社会人(大学生・高専生を含む)で、本年度当協会への加盟登録完了の者。
(2) セミベテランの部は、大会前日において満35歳以上の者とする。
(3) ベテランの部は、大会前日において満50歳以上の者とする。
- 11 チーム編成 (1) 団体戦は監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5名以上8名以内の、計11名以内で編成する。(監督は当該校の教職員、マネージャーは当該校の教職員または生徒であること。)
(2) チーム登録選手の変更については、当日朝の監督会議まで認める。
- 12 参加制限 (1) 高校の部個人戦は2部制(Aゾーン・Bゾーン)とし、1校当たりの参加数は無制限とする。
(2) 高校の部の2部制のエントリーについては以下の通りとする。

- ①Aゾーン：大会出場経験者を対象とする。
 - ②Bゾーン：大会未経験者・初心者を対象とする。
 - ③AゾーンとBゾーンとの重複出場は認めない。
 - ④学校事情によりやむを得ない場合、単Aゾーンの選手と単Bゾーンの選手がダブルスのペアを組んで出場することができる。
 - ⑤A・Bの区分は顧問（監督）の裁量で行う。提出されたランクについては、競技委員会及び高体連専門部で審査する。
- (3) 一般・年代別各種目については以下の通りとする。
- ①年齢区分の異なる者同士がパートナーを組んでダブルス種目に出場する場合は年少者の種目に出場する。
 - ②年長者が年少者の種目に出場希望することは可とする。年少者が年長者の種目に出場希望することは不可とする。
 - ③一人2種目(単1・複1)までの出場を認める。
 - ④混合複の種目に出場を希望する者は、上記③に示す2種目(単1・複1)までの出場のほかに、混合複を含め、3種目までの出場を認める。
 - ⑤ベテラン複の種目については、50歳以上の者同士で、男・女の区分なくペアを組んで出場することができる。
- (3) 組合せ会議後の参加選手の変更については、監督会議の場で協議する。変更が認められた場合でも、次の①から④のいずれかとなる。
- ①出場を取り消しにする。
 - ②一般・年代別の部では、希望により、他の種目(但し、年少者の種目)に編入することも可とする。この場合、組合せ会議時に競技委員会で検討する。
 - ③トーナメント戦の場合は次回戦への勝ち上がりはできないものとする。
 - ④リーグ戦の場合はオープン参加とする。(従って、同一リーグ内の残りのチームの対戦成績のみで順位を決定する。)

13 参加料	団体戦	1 チーム	12,000 円	
	個人戦	高校の部		一人1種目 1,500 円
		一般・年代別の部 (高校3年生を含む)		一人1種目 1,800 円

- 14 申込方法
- (1) 次のどちらかで申し込むこと。
- ①「様式3：参加申込エクセル一覧・個票」をメールで送付する。
ファイル名を「会長杯参加申込エクセル一覧・個票(学校名・チーム名)」とし、下記アドレスに送付する。
 - ②「様式1：参加申込一覧」「様式2：参加申込個票」を郵送する。
(なお、「様式1」のみFAX可とする。)
- (2) 競技種目別に「男子は黒」「女子は赤」で記入すること。

申込先 〒040-0012 函館市時任町11番3号
 北海道函館中部高等学校内 尾村 晃治(宛)
 [TEL] 090-6697-0996
 [FAX] 0138-52-0305(職場)
 [MAIL] k o z y - o m u r a @ h o k k a i d o - c . e d . j p
 (すべて半角)

申込締切日 高校 2022年8月19日(金)
 一般 2022年8月27日(土) 必着のこと

- 15 組合せ 函館地区バドミントン協会競技委員会、高体連バドミントン専門部において行う。
- | | | | | |
|----|---------------|--------|-------|-----|
| 高校 | 2022年8月28日(日) | 函館中部高校 | 13:30 | 会議室 |
| 一般 | 2022年9月4日(日) | 函館アリーナ | 10:00 | 役員室 |

- 16 その他
- (1) 参加料関連について
- ①組合せ会議後から大会当日(含む)の間に棄権が生じた場合の参加料については返金しない。
 - ②大会当日の選手変更(オープン参加)の場合の参加料については返金しない。

③高校の部で自校の生徒が他校の生徒とダブルスのペアを組んで出場する場合は、所属する学校別に自校の生徒分のみの「人数(内数)＋参加料」を別紙「様式1：参加申込一覧」の「表紙ページ」に記入すること。

(2) 審判について

- ①タイムテーブルの1段目については、学校指名制とする。
- ②1段目以降の試合は、敗者(学校・クラブ)で主審・得点板係を行うこと。
- ③線審は対戦する選手の学校・クラブから1名ずつ相互に選出すること。
- ④線審・得点板係において人数不足がある場合は、該当する試合の前に必ず本部席に連絡すること。

(3) その他

- ①服装は品位を保つため、(公財)日本バドミントン協会検定合格品とする。
- ②高校の部に出場する選手は、競技時に上位の背面には必ず高等学校名を明記すること。(ゼッケン可、縦15cm×横30cm 文字は6cm～10cm)
- ③団体戦で、選手が足りない場合、オープンでの参加を可能とする。4名の場合第1シングルス、3名の場合第2ダブルスを欠いた状態で試合を行う。なお、3名に満たない場合で出場希望の学校は、申込先(函館中部高校尾村)まで連絡すること。
- ④大会期間中、各日の競技開始前に代表者会議を開くので、高校及び一般の選手の所属クラブの代表者1名は参集すること。
- ⑤公開練習の割り当てについては、別途知らせる。(大会当日配布の予定)
- ⑥ゴミは各自で持ち帰ること。
- ⑦2階席の走路区域での飲食はしないこと。

17 前回優勝者(一般及び年代別種目のみ掲載)

[令和2年度：優勝者](令和2年9月12・13日)

MD	田中 健太 播磨 良輝	(市田組) (有斗)
VMD	辻村 昌彦 高橋 康	(コモンズ・プレイヤーズ) (コモンズ・プレイヤーズ)
MS	播磨 良輝	(有斗)
VMS	辻村 昌彦	(コモンズ・プレイヤーズ)

WD	紺井 明日香 松本 香織	(市田組) (市田組)
WS	和田 佳奈	(函館大妻)

18 大会参加に当たっての注意

- (1) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。
 - ① 体調不良の場合。(例：発熱・せき・のど痛などの症状がある場合。)
 - ② 同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染症等の感染が疑われる方がいる場合。
 - ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
- (2) マスクを持参すること。(受付時や着替え時、また競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること。)
- (3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (4) 他の参加者(監督、コーチを含む)協会スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。
- (5) 競技中、コーチ席や観客席での大きな声での応援(特に観客席前の柵の前)、会場での大きな声での会話をしないこと。また、移動しての応援を禁止する。指定された観客席から移動しないこと。
- (6) 感染防止のために協会が定めたその他の措置の遵守、協会スタッフの指示に従うこと。
- (7) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに協会事務局に報告すること。
- (8) 保護者等の来場を制限する。感染状況により許可する場合があるが、地区協会より顧問・HPを通じて行う別途連絡を確認すること。
- (9) 函館アリーナへの入場は、市民会館側から入場すること。朝8:00の開場前には、チームごとに、密にならないように待機すること。
- (10) 大会参加者は、HPにアップロードするQRコードによる事前登録と、健康状態・入場確認シートに入力を済ませておくこと。もしくは、用紙を記入し当日提出すること。

新型コロナウイルス感染症対策 「競技・運営上の注意」
北海道バドミントン協会ガイドライン（抜粋）・函館地区バドミントン協会追加（下線部）

1. 基本的な考え方

公益財団法人日本バドミントン協会が作成した「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」および北海道バドミントン協会が作成した新型コロナウイルス感染症対策「競技・運営上の注意」に準じて、参加者および関係者の健康と安全の確保を最優先して実施する。

2. 会場への入場制限の実施について

①本大会は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から入場者の制限をする。会場内への出入りについては、原則当日試合に出場する選手、監督（顧問・コーチ）・練習パートナー、大会役員（審判含む）および補助生徒のみとする。（以下、大会関係者とする）

※保護者等の入場は地区協会より顧問・HPを通じて行う別途連絡をする。

②新型コロナウイルス感染症防止対策のため、大会関係者は次の書類を必ず提出すること。

HPにアップロードするQRコードによる事前登録と、健康状態・入場確認シートに入力を済ませておくこと。もしくは、健康状態・入場確認シートを記入し当日提出すること。なお、体調がよくない場合（発熱・咳・倦怠感などの症状がある）は、自主的に参加を見合わせる事。

③発熱者（37.5度以上）の入場を禁止する。

④大会関係者は期間中、必ずマスクを着用すること。（試合時および練習時は除く）

3. 会場内で使用する物品について

①感染拡大予防として使用する、消毒薬、遮蔽用具、非接触型体温計等を事前に準備する。（消毒薬の残量チェックを定期的に行う。）

②出入口付近や通路にアルコール等の手指消毒剤を設置し、大会関係者同士が密な状態にならないように、あらかじめ定員を設定し間隔を空けるなど配慮する。

4. 開場時間・受付・IDカードについて

①体育館開場時間は8：00の予定である。

②保護者の入場が許可された場合、会場の入り口に受付を用意する。IDカード（入場証）を受け取る事。

③IDカードは大会期間中、必ず身につける事。帰る際はIDカードを受付に戻す事。

5. 大会会場内に関する確認事項

①換気の悪い密閉空間にしないよう、定期的に外気を取り入れる換気を行う。

②密を避けるため、組み合わせやタイムテーブルの掲示はしない。

③外履きは袋に入れ自分で管理し、下駄箱は使用しない。

④更衣室の使用範囲を更衣のみとし、シャワー・ロッカーの使用を禁止する。

⑤食事場所は、飛沫が発生し感染リスクが高いことから、密にならないよう感染拡大防止を徹底する。

⑥待機場所および観戦については、指定された場所や席または距離を開けて行い、席の移動は禁止する。（自チーム選手が試合をしているコート付近観覧席への移動も禁止する。）応援は声を出さずに拍手をもって行う（手拍子禁止）。鳴り物、うちわ、メガホンなどを利用した応援も禁止する。

6. 大会本部

①大会本部の設置は、密を避けるように配置し、適切な運営スペースを確保する。

②関係者控室は、なるべく多くの部屋を確保し、密を避けるようにする。但し、確保が困難な場合は、飛散防止シート等の設置、利用人数の制限を行う。

③共用スペース（トイレ・更衣室・食事場所等）および共有物品については、定期的に消毒を行う。

7. 競技会場（競技スペース）及び競技関係用具類について

バドミントンの大会は体育館内で行われるため、換気については特に配慮が求められ、また、競技で使用する用具には不特定多数の方が直接手を触れる物が多いため、大会期間の前後を含む継続した対応を行う。

①遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う。

②窓や扉の開放ができない場合は、換気の悪い密閉空間とならないよう十分な換気を行う。その際は、換気のタイミングや換気時間等を決め、事前に周知する。

- ③コートサイドにはカゴやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバッグに保管する。
- ④コーチングシートは1席用意します。使用した椅子は、チェンジェンズ毎に持ち歩くこと。
- ⑤インターバルの時間は設定するが、ボードは使用しない。
- ⑥毎試合終了後の審判台・線審席・コーチ席・得点係席を消毒する。

8. 競技関係者及び競技中の確認事項

- ①線審、得点係等は、マスクを着用する。水分補給を促し、熱中症対策を講じる。
- ②選手同士や審判員との握手は行わない。
- ③トスは、フィジカルディスタンスを確保して行う。
- ④コールは、必要最小限とする。⇒「プレー」「フォルト」「レット」「ゲーム」等で行う。線審は、指定の合図を行い、コールをしない。
- ⑤シャトルの交換は、主審に確認の上、選手がシャトルを直接かごから取り出し、使用済みシャトルは選手が回収かごに入れる。
- ⑥プレーヤー同士や監督・コーチとのハイタッチ等の接触を行わない。また、ラケット・タオル等の用具の貸借はしない。
- ⑦汗をコート内やコートサイドに投げない。
- ⑧シューズの裏を手で拭かない。
- ⑨意識的に試合中の声出しは、極力控える。
- ⑩コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行う。
- ⑪ウェアの背面文字列表示については、明瞭な文字を使用し、文字の色は上衣面の文字列表示部分の色と明確に区別できるウェアを着用すること。(ウェアの更衣をお願いする場合あり)
- ⑫敗者審判・得点係とする。

9. 開閉会式・表彰・公式練習について

- ①開会式及び閉会式は実施せず、表彰のみ随時行う。
- ②公式練習および試合前練習は、通常どおり行う。

10. その他

- ①会話をする場合は、マスクの着用を励行する。
- ②適宜手洗いやうがい等により予防に努める。
- ③ゴミについては、感染症拡大防止の観点から各自持ち帰り自宅で処分する。

◎今大会は新型コロナウイルス感染予防の観点から、例年のような大会運営とはならない状況にありますが、感染者を出すことなく無事に大会を終えたいと考えています。皆様の多大なるご理解とご協力をお願い申し上げます。